

発売
20.15

大井

第53回羽田盃(SI)1800m
(サラ3歳, オープン, 定量)

賞金
① 40,000,000円
② 14,000,000円
③ 8,000,000円
④ 4,000,000円
⑤ 2,000,000円

レコード 1.49.9
カツアール
56高橋三(S55.6.11)
推定タイム1.52.2



競馬ブック南関東競馬版
4月23日(水) 第6回大井4日目10R
(晴のち曇・良) 見込み

Table with columns for race number, horse name, jockey, trainer, age, sex, color, and performance data. Includes entries like タケノショウリュウ, ミヤサンスペクター, シェルラフ, エバークライト, ホウザン, ジルグリッター, コラボスフィータ, ディラクエ, ニックバニヤン, ハタノギャラン, ディアヤマト, ゲンキチホマレ, ロイヤルマコトクン, ミサトアンバード.

10R 8⇒11 8⇒13 11⇒13
連単 8⇒12 8⇒7 8⇒4 8⇒5
3連単 ⑧⑪⑫ ⑧⑪⑫ ⑧⑪⑫⑬⑭
本紙の見解 逃げ馬 総崩れのハイペースだったとはいえ、直線一

気で5馬身突き放したディアラクエのパフォーマンスは圧巻の一言。明らかに能力が一枚上と判断できる。流れが落ちて着けば自力でマクリが打てるし、もはや敵無しとの状況。焦点はその勝ちっぷりに絞られる。相手筆頭はダートグレードレース勝ちのあるディアヤマト。追い切りで前走時とは一変の動きを見せており、◎との着差は詰められそう。逆転までは？だが、②着は死守。一騎討ちムードに割って入れば単騎で

逃げられそうならロイヤルマコトクン。雲取賞の勝ちっぷりは印象的。
漆黒の馬体が躍動
●ディアラクエ(勝ち負け)
内田師——19日に追い切る予定だったが、馬場が悪かったため20日に追った。前走から1カ月弱しか間がないし、テンションが上がり過ぎないよう抑え気味で行ったが、余力が

ありい感じだった。丈夫な馬で予定通り調教をこなせるのが強みだね。前走はテンが速くなって展開が向いたけど、今回はあまり速くならないと思うので、前回のように甘くはなさそう。後ろから行く馬でマークされるとかはないだろうから、自分の競馬をするだけ。折り合いがつけば、勝ち負けになる。

ポイント… JRAのOPアネモネスを勝ったエミーズスマイルは、小柄で芝向きだったのに対し、こちらは雄大な馬格を誇るパワー型のダート巧者。タイプは正反対でも、ともに母系から強力な決め脚を受け継いだ。他馬が止まったかのように突き抜けた京浜盃Vで、既に羽田盃は確定ムードが漂った。昨年12月重賞を勝つことなく繁殖入りした姉に代わり、北海道からやってきた弟。クラシック制覇でその名を轟かせる。

◎ディアヤマト(気配上々)

月岡師——中間は本当にいい感じで調整できている。動きは前走時より良くなっているし、デキに関しては文句なし。確かにディアラクエは強いけど、頑張っ欲しい。

ポイント… JRAで行われる3歳ダート重賞は年明けから6月ユニコーンSまで一つもなく、2歳時に賞金を稼いだダート巧者は、満足のいくローテーターが組めない現状。同馬のように賞金水準の高い南関東に入って活躍するケースが、今後増えていくかも知れない。好位で渋たく粘った京浜盃は展開を考慮すれば、及第点を与えられる走り。攻め一変で今回は本調子に戻っており、どこまで◎との差を詰められるか。

○ロイヤルマコトクン(好仕上がり)

辻野師——前走は出遅れてテンに無理した分、終いに響いてしまった。今回も思い通りの調教ができたし、仕上がりに不安はない。ハナにはこだわらないけど、そう速い馬も見当たらないからね。ジョッキーの判断に任せるよ。

ポイント… 2戦目で接戦を演じたモエレラッキーが、川崎でクラウンC勝ち。同馬の評価がまた一段上がった。ニューイヤーカーは初モノ尽くしだったし、③着だった前走も勝手の違う競馬+厳しい流れを考えれば、悪い内容ではない。今回は挑戦者の立場で徹底先行、上位2頭が後

レース展開予想

ペース 逃げ⑬ 好位①⑦⑤①
M 中位一団 後方④②⑩

先行型の牝馬2騎はこの先の東京プリンセス賞が目標。ロイヤルマコトクンに鈴をつけに行くとは考えにくい。程よい平均的なラップを刻んで気分よく逃げられそう。ディアヤマト、コロボスフィードが好位。ディアラクエは前の動向を窺いながら後方待機、3コーナー過ぎから追い上げる格好か。直線は粘るマコトクンに好位勢が並びかけ、その外からディアラクエが襲いかかる。京浜盃の再現で波乱の目は薄い。

枠馬番	馬名	中善齊金木川林藤子村	ローテーション										ファクター総合評価	ナイター成績						
			2	3	3	3	4	4	5	4	大浦	大船			大浦	大船	大川			
11	タケノシ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	0	
2	ミヤサン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	2	0	0	
3	ミッシェ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	1	3	
4	エバーブ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	0	
5	ホウザン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	1	
6	ジルグリ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	0	
7	コロボス	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	1	0	1	
8	ディアク	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	2	0	1	
9	ニックバ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	2	0	0	1	
10	ハタノギ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	0	
11	ディアヤ	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	0	1	0	0	
12	ゲンキチ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	1	0	1
13	ロイヤル	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	1	0	
14	ミサトア	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	0	0	0	2	

竹内	水元	湯本	川上	並木	大木	中川	善林	斉藤	金子	木村
8⇒11	8⇒11	8⇒12	7⇒8	8⇒13	8⇒11	8⇒11	8⇒13	8⇒11	8⇒11	13⇒8
8⇒12	8⇒13	8⇒11	7⇒11	8⇒11	8⇒13	8⇒5	8⇒11	8⇒13	8⇒12	13⇒11
11⇒12	11⇒13	12⇒11	8⇒11	13⇒11	11⇒13	11⇒5	13⇒11	11⇒13	11⇒12	13⇒11
8⇒7	8⇒7	8⇒7	7⇒13	8⇒7	8⇒7	8⇒7	8⇒4	8⇒12	8⇒13	13⇒7
8⇒13	8⇒5	8⇒5	7⇒12	8⇒14	8⇒5	8⇒13	8⇒12	8⇒7	8⇒10	13⇒12
8⇒5	11⇒7	8⇒14	7⇒6	8⇒12	11⇒7	8⇒9	8⇒7	8⇒5	8⇒9	13⇒6

池田勇孝の爆弾

大井・外回りは初めてのゲンキチホマレ。これは強力な支援材料になる。例によって出脚が鈍かったニューイヤーカー。向正面から追い通しのスパイクでもゴール前1F12秒7で駆け抜けた。いかにも直線の長いコース向き。

馬単⑧⇒⑫ ⑪⇒⑫ ⑫⇒⑬ ⑦⇒⑫ ⑫⇒④ ⑫⇒⑤

ろで牽制しあうようだ、雲取賞で見せたあの強さを再現できる。

○ゲンキチホマレ(態勢整う)

秋山師——前走後にソエが出たので、目標を羽田盃に絞って調整してきた。最終追いの伸び脚は良く、いい感じに仕上がった。馬場見せでは落ち着いていたから、右回りも問題ない。大トビだけ道悪で実績を残してどういった馬場でも対応できるし、広い大井は合っている。好勝負を期待したいね。

ポイント… 追い込み一手の気性、新馬直後の初勝利から、叩き良化型のイメージを受けるものの、中間の乗り込み量は足りており、馬体は仕上がっている。いかにもこの条件が合いそうだし、ディアラクエを除けば大差のないメンバー構成。後方からうまく馬群を捌ければ、ニューイヤーカーで見せた豪脚再び。

○コロボスフィード(状態上向き)

岡林師——前走は予想以上に頑張ってくれた。正直、雲取賞の時の方が状態は良かったが、あれだけ走れたのは収穫。予定通りのローテーションだし、今は調子がいい。稽古は凄く動くが、バテないタイプなので、距離は長い方が向くはず。

ポイント… デビュー2連勝の強さを考えると、少々物足りない一連。初馬場の影響や出遅れもあったが、どうもワンパンチ足りない。ただ、血統を考えると、大井の外回り中距離はプラス要素。前走よりデキも上げており、マークは外せない

○エバーブライト(距離歓迎)

岡林師——転入当初より馬がシッカリしてきた。決め手に欠けるが、

CS放送解説者 竹内康光の狙い

カーッとすると凄絶な勢いで上がって行ってしまうディアラクエの課題は、前半のタメと我慢。行く気になったのを抑えてミスにつながったこともあるので、そうなら行かせられないだろう。それでも何とか押し切れる。

ジリジリと伸びるので距離は長い方がいい。芝・ダートともにこなすが、こちらで使ったら、一線級と走っていてもいいところがあったはず。

ポイント… 兄エターナルスマイルは3歳時船橋在籍で3勝を挙げ、4歳になってJRAへ。6歳の現在はダートの長いところを主戦場に選んで1000万クラスで上位争いしている。晩成の母系で本格化は先だろうが、持久力を生かせる大井1800は望むところ。軽い馬場なら面白い存在。

○ホウザン(叩き良化)

川島正師——京浜盃はレース間隔が開いてた分、まだ中身が重かったし、気持ちも走る方に向いてなかったね。反動や疲れはなかったから、この中間は調教を強化して、今朝も終いはキッチリ追うように指示。まだ良化余地は残るけど、気合が乗って息遣いも良化。叩いた効果はかなりだよ。このメンバーでもヒケを取らない素質を感じるから、今度はメドの立つ内容を期待したい。

ポイント… 行きっぷりが悪く、中団のまま沈んだ前走。先行粘り込みが好走パターンだけに、あの展開ではさすがに厳しかった。北海道2歳優駿ではディアラクエを最後まで苦しめており、一度使われたことで馬に闘志が戻れば、巻き返し十分。

△タケノショウリュウ(順調だが)

辻野師——順調に来てるし、いい雰囲気だよ。距離も問題ないけど、相手が揃ったね。胸を借りるつもりで頑張ってもらいたい。

ポイント… 1800は1分56秒台がやっつ。ここで通用する数字ではなく、今回が重賞初挑戦。狙い目なし。

△ミヤサンスペクター(相手強化)

秋吉師——デキは悪くないが、一

気に相手が上がるからね。力を出し切ってどこまでやれるか。

ポイント... 1600を勝った時はクエの辛勝。ここ2戦の走りからも、短距離向きは明らか。1800は不安材料だし、ましてやこのメンバー。勝負圏外と見ていいだろう。

△ミッシュェラブ(相手揃う)

上杉師——叩いて良くなっているが、相手が相手だから。次のプリンセス賞につながる競馬ができれば。

ポイント... 南関東の重賞を勝った叔父タイムライアンほど距離は保たず、3連対はすべて1200以下。牡馬混合では敷居が高く、見送り妥当。

○ジルグリッター(状態アップ)

岡林師——気難しさがネックでリズムを崩したが、もともと期待の大きい馬。大井の1800は良さそうだし、ここに来て状態は上向き。どんな競馬ができるか楽しみ。

ポイント... 再調試明けだったとはいえ、後方から1頭交わしただけのレースぶりは不満が残る。これで自己条件ならまだしも、豪華メンバー揃いのS I。家賃が高過ぎる。

○ニックバニヤン(遮眼革外す)

佐々木洋師——前走はプリンカーが逆効果で力を出せずに終わってしまった。今回は外すし、砂を被らずに自分の競馬ができれば、もっとやれるはず。

ポイント... 仕上がりの早さを生かしてデビューからV3。雲取賞までは何とか健闘していたが、本番前の前走で大敗を喫し、上位陣に追い抜かれてしまった。大望は無理。

△ハタノギャラン(条件悪い)

柿本義師——体がシッカリしてきて大分良くなってきているよ。前走の感じから距離は大丈夫そうだが、ナイターはどうか。牡馬一線級相手で分が悪いのは確かだが、何とか次につながる競馬を。

ポイント... 初の1600だったことを考えれば、桜花賞④着は誉められていい。今回は東京プリンセス賞を見据えて、大井を経験させておこうという狙い。1800である程度走れば、次に向けて視界が広がる。

○ミサトアンバード(流れ次第)

宇野木師——前走は直線で前をカットされる不利がなければ違っていたはず。レース直前でテンションが上がりが過ぎたのも多少影響があっただろう。490kg前後のベスト体重で臨めそうだよ。今回も後ろからになるので、展開が鍵だね。

ポイント... 差し馬向きの展開になったが、直線で前をカットされて戦意を喪失した格好。ただ、雲取賞⑦着を見ると、上位との力差は開いているように思える。外回りに替わってどれだけ上積みがあるか。

厩舎情報からの買い目

過去10年、1気は①①止①④①④①

②③着。2気は⑥②①②①②②⑦⑨①着。1、2気馬で8勝、②着5回。前哨戦の京浜盃を制し、羽田盃も勝った馬はオリオンザサンクス、トーシンブリザード、ナイキアディライト、シーチャリオット、トップサバトンの5頭。優勝馬の10頭中、8頭が前走①着というデータもあり、ディラクエ中心で問題はなさそう。陣営も「折り合いさえつければ勝ち負け」と当然のように勝利を意識したコメント。京浜盃未出走組では休み明けだが、ニューイヤーカップ勝ちで、「広い大井は合っている」ゲンキチホマレに注目してみたい。

追い切り診断

□エバーブライト 極悪馬場を気にしたのか少しゴール前モタついたが、中間の攻めは十分。馬体もスキッと見せている。

□ゲンキチホマレ 長目から行き出し2気過ぎからペースアップ。直線では外に持ち出して鋭い伸び脚を見せた。追ってからの反応がいいし、太目感もなく好仕上がり。

□コラボスフィーダ 前半の入りがゆったりだった分、同馬にしては目立った時計ではないが、追われての反応は鋭く、ゴール板を過ぎても勢いは衰えなかった。馬体も絞れて態勢整う。

□ジルグリッター 上がり重点にしても反応の良さが目についた。張りのいい馬体で、集中力も十分。

□タケノショウリュウ 快足馬相手に互角の動きで申し分のないタイム。毛ヅヤも良好で力を出せる。

□ディアヤマト 集中力を欠いた前回と違って、今回は軽く仕掛けた程度でニックバニヤンを逆転。この中間、普段の気合乗りからして違うし、京浜盃で直線替えていなかった手前もキッチリと替えていた。すべての面で上昇大。

□ディラクエ 前走時に比べると抑え気味に入って徐々にペースアップ。最後は相手に合わせて気合をつけた程度で楽々と併入した。柔らか味のあるフットワークで馬体の張り、気合乗りともに前走以上。

□ニックバニヤン 前回同様、道中はディアヤマトをアオる勢いだったが、直線での追い比べでは逆に突き放されてしまった。上がり目は窺えない。

□ハタノギャラン 石崎駿J騎乗でシッカリ追われて、馬場の外目を力強い脚捌き。仕上がりは良さそう。

□ホウザン 手応えの割に追っての反応は今ひとつ。一応先着はしたが、一変という感じは？

□ミサトアンバード 砂が深く時計を要する馬場。全体の時計が目立たないのは問題ない。ステッキが入ってから反応は今イチだが、気合乗りの良さで豪快なフットワークから、態勢は整っている。

□ロイヤルマコトクン 前半で脚を使った分、ゴール前の勢いは見劣ったが、時計は及第点。急上昇とはいかなくとも

も前走同様力を出せる。

10R ☆ディアヤマト急上昇☆

Table with race results for 10R, including horse names, jockeys, and times. Includes entries like タケノショウリュウ, ミヤサンスペクター, ミッシュェラブ, エバーブライト, ホウザン, コラボスフィーダ, ジルグリッター, ディラクエ, ニックバニヤン, ハタノギャラン, ディアヤマト, ミサトアンバード, ゲンキチホマレ, ロイヤルマコトクン.